

くわい

—— 発病・加害時期
 == 発病・加害最盛期

作型・病虫害名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通						▲ 種球植付け						■ 収穫
赤茎ひぶくれ病 アブラムシ類 ハスモンヨトウ						——	——	——	——			
赤茎ひぶくれ病 アブラムシ類 ハスモンヨトウ						——	——	——	——			
赤茎ひぶくれ病 アブラムシ類 ハスモンヨトウ						——	——	——	——			
赤茎ひぶくれ病 アブラムシ類 ハスモンヨトウ						——	——	——	——			

赤枯症（フザリウム菌）

防除方法

- 1 種いもは無病のものを選ぶ。
- 2 種いもを貯蔵前に下記の薬剤に30分間浸漬する。
 - ・ [ベンレートT水和剤20](#) <1> <M3> 【300倍 種いも貯蔵前／1回】

茎腐病

留意事項

- 1 QoI剤<<11>>は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ユニフォーム粒剤](#) <<11>> <4> 【3kg／10a たん水散布 21日／2回】

ひぶくれ病

留意事項

- 1 台風などで茎葉に傷を生じた場合に発生しやすい。

防除方法

- 1 被害葉は早めに摘除し、孢子球の飛散を防ぐ。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
 - ・ [Zボルドー](#) <M1> 【500倍 発病前～発病初期／—】
 - ・ [コサイド3000](#) <M1> 【2000倍 —／—】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

アブラムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル粒剤](#)、[アルバリン粒剤](#) <4 A> 【3kg/10a 30日/3回】
 - ・ [ダントツ粒剤](#) <4 A> 【6kg/10a たん水散布 7日/3回】
 - ・ [ウララDF](#) <2 9> 【2000倍 21日/3回】

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 パダンSG水溶剤は、眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 <1 4> 【1500倍 30日/3回】
 - ・ [BT剤](#) <1 1 A> (区野菜類の病害虫防除 3野菜類 参照)

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。